

# トータルソリューションをPR

## キッツ グループ 東京・大阪で独自の展示会

キッツグループは、10日に東京国際フォーラム、17日に大阪梅田サウスホールで、中期経営計画で掲げる成長戦略に従って8つのターゲット市場分野ごとに製品・サービスを紹介する「KITZ CONVENTION2024」を開催した。国内外のグループ各社の製品・サービスを

脱炭素など市場別に展示して、グループシナジーをアピールしたのが特徴。独自の展示会は35年ぶりの開催となる。展示会には、国内外の代理店、販売店、コンストラクターを中心に、東京会場には3067人、大阪会場には1744人が来場するなど、大盛況だった。

建築設備・機械装置分野では、給排水管などの建物配管の省力化・簡易

脱炭素など市場別に展示して、グループシナジーをアピールしたのが特徴。独自の展示会は35年ぶりの開催となる。展示会には、国内外の代理店、販売店、コンストラクターを中心に、東京会場には3067人、大阪会場には1744人が来場するなど、大盛況だった。

建築設備・機械装置分野では、給排水管などの建物配管の省力化・簡易

脱炭素など市場別に展示して、グループシナジーをアピールしたのが特徴。独自の展示会は35年ぶりの開催となる。展示会には、国内外の代理店、販売店、コンストラクターを中心に、東京会場には3067人、大阪会場には1744人が来場するなど、大盛況だった。

建築設備・機械装置分野では、給排水管などの建物配管の省力化・簡易

脱炭素など市場別に展示して、グループシナジーをアピールしたのが特徴。独自の展示会は35年ぶりの開催となる。展示会には、国内外の代理店、販売店、コンストラクターを中心に、東京会場には3067人、大阪会場には1744人が来場するなど、大盛況だった。

建築設備・機械装置分野では、給排水管などの建物配管の省力化・簡易

脱炭素など市場別に展示して、グループシナジーをアピールしたのが特徴。独自の展示会は35年ぶりの開催となる。展示会には、国内外の代理店、販売店、コンストラクターを中心に、東京会場には3067人、大阪会場には1744人が来場するなど、大盛況だった。

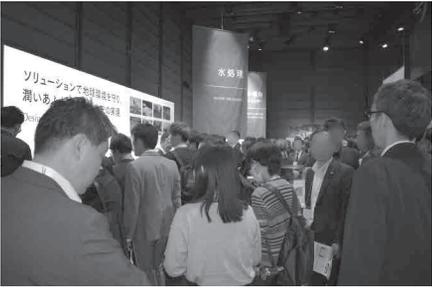
建築設備・機械装置分野では、給排水管などの建物配管の省力化・簡易

脱炭素など市場別に展示して、グループシナジーをアピールしたのが特徴。独自の展示会は35年ぶりの開催となる。展示会には、国内外の代理店、販売店、コンストラクターを中心に、東京会場には3067人、大阪会場には1744人が来場するなど、大盛況だった。

建築設備・機械装置分野では、給排水管などの建物配管の省力化・簡易



バルブを前にキッツの堀田康之会長(左)と河野社長



来場者が3000人超と大盛況だった東京会場

珠洲市でも活躍したアクアレスキューに注目が



確保に貢献した清水合金製作所の可搬式膜ろ過装置「アクアレスキュー」や、促進酸化処理を用いた除菌・有機物分解を行う東洋バルブの水処理装置「ピュアキレイサー」などに注目が集まった。

また、バルブでは、清水合金製作所の補修弁に伸縮可とう構造を持たせ、地震発生後も補修弁の作動性・止水性を維持する「耐震補修弁」など

管路システムの強靱化に貢献する製品をPRした。河野誠・キッツ社長は「キッツグループがこれから目指そうとしていることを皆様にアピールしたいと考え、展示会を開催した。今年度は第1期中期経営計画の最終年度で、来年度からは第2期がスタートする。長期経営ビジョンで掲げた2030年のありたい姿を見

据えて、さらなる高みを目指していきたい」と強調したほか、「想像以上に多くの方に来場いただいた。今後は東京・大阪だけでなく、地方都市での開催も検討していきたい」と述べた。

小田仁志・清水合金製作所社長は「水道事業者では、取水から配水まで多様な悩みを抱えているが、今回の展示会で、それを対応するためのグループ各社の技術・製品を結集してトータルソリューションを紹介した。当社としては、能登半島地震により、地震対策に注目が集まっていることから、耐震補修弁やマルチガスケットなどの耐震シリーズのPRに力を入れた。今後もニッチな分野できめ細やかに対応してお客様のニーズに